

1 もっと身近に運動を

	実施内容	担当課	取り組み内容	年代別						令和7年度実施結果	令和8年度実施予定
				乳幼児期	学童期	思春期	青年期	壮年期	高齢期		
				0～6歳	7～12歳	13～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上		
1	スポーツの祭典	文化スポーツ課	市民のスポーツ・レクリエーション活動への参加意欲を喚起し、生涯スポーツを啓発推進するもの。セーリングフェスティバルと同時開催	○	○	○	○	○	○	6月1日開催(参加者数 3,586人)	6/14開催予定。 これまで高齢者向けの種目が多かったので、小中学生向けの種目(アーバンスポーツ)を追加。観るスポーツとして、プロバスケット手を招いて試合が観れるようなものも盛り込んだ。
2	ポッチャ大会	文化スポーツ課	R7年度初めて、ポッチャ大会を実施。	○	○	○	○	○	○	3月15日開催(参加者40人)	3月14日開催予定。 小学生も参加いただいたが、遠方(市外)からの参加者も多いので、今後参加対象等は検討していく。
3	ニュースポーツ体験会	文化スポーツ課	体験会として、ビッケルボール、ポッチャ、コンフォール、インディアカを実施。ビッケルボールが人気だったことから、うみかぜクラブにも追加した。	○	○	○	○	○	○	1月18日開催(参加者48人)	1月17日開催予定。 ビッケルボールが例年人気なので、ブースを大きくする等工夫していく予定。
4	マリンスポーツを楽しもう 春休み海祭り	経済観光課	観光協会が主催するマリンスポーツ体験会は、毎年人気。参加は抽選で、SUP、ウインドサーフィンを実施。		○					7月22日開催(参加者64人) 3月26日開催(参加者天候不良により中止)	7月23日 マリンスポーツ 毎度抽選。参加者枠はできるだけ増やしている。 同じ子が申し込んでいることも多い。 3月 春休み海祭りは日程未定
5	介護予防事業	社会福祉課	一般介護予防事業として、『脳活・筋活教室』、『シニアヘルスアップ教室』、『水中運動』を実施。						○	・脳活・筋活(44回 478人) ①5月開催13人②7月開催16人 ③10月開催9人 ・シニアヘルスアップ(41回 548人) ①5月開催16人②7月開催16人 ③10月開催16人 ・水中運動(12回、155人) ①8月開催16人②11月開催16人	各教室定員16人がほぼ埋まっている。各教室が1コース10回くらい(3カ月間)あり、終了後は自主グループ化していくことも。 令和8年度も継続して実施。
6	ふれあいフェス	障がい福祉課	ポッチャ、車いす卓球など障がい者スポーツの体験ができるイベント。	○	○	○	○	○	○	12月6日開催(参加者409人)	12月5日に実施予定
7	ラジオ体操講座@亀岡八幡宮	国保健康課	身近な運動として認知されているラジオ体操の正しいやり方を伝え、運動習慣を推進する講座。				○	○	○	10月に計4回開催(参加者64人)	令和8年度も亀岡八幡宮にて4回実施予定。 ①10/6(予備日10/13)②10/20(予備日10/27)③11/2(予備日11/9)④11/17(予備日11/24)
8	アプリで健康ポイント ゲットキャンペーン	国保健康課	スマートフォンアプリを活用した健康的な行動の促進。行動を記録する毎にポイントを付与し、インセンティブを提供。				○	○	○	10月10日～1月31日開催(参加者244人)	令和6年度に比べて令和7年度の参加者数は減少したが、担当者会議でビッケルボールが人気との話があり、商品Iに取入れたところ応募者多数であった。
9	健康づくり出前講座	国保健康課	市内の団体等に保健師や管理栄養士が出向き、健康知識の普及を図るもの。依頼に応じて実施。				○	○	○	通年 19回開催(参加者延べ535人)	継続して実施。
10	ピラティス体験教室	社会教育課	コミュニティセンターイベントとして、ピラティス教室を開催。				○	○	○	12/11、18開催(参加者14人)	
11	ボディコンディショニング体験教室	社会教育課	コミュニティセンターイベントとして、ボディコンディショニング体験教室を開催。				○	○	○	10/22、10/29開催(参加者23人)	
12	フラダンス体験教室	社会教育課	コミュニティセンターイベントとして、フラダンス体験教室開催。				○	○	○	6/26、7/3、7/10開催(参加者17人)	
13	あそび塾	子育て支援課	0歳児対象に、R7年度2回実施。体を使った遊びの提案する教室。	○			○	○		6/9、12/8に開催(参加者親子25組(大人25人、子ども27人))参加者の満足度が高かった。	令和8年度はどんぐりひろば(未就学児対象)の中に組み込む予定。保健センター偶数月の年6回、子育て支援センター奇数月の年6回、子育て支援センターでは、出張どんぐりひろばとして開催(赤ちゃんの日3回とお父さんの日3回)。

2 自分の体を知ろう

	実施内容	担当課	取り組み内容	年代別						令和7年度実施結果	令和8年度実施予定
				乳幼児期	学童期	思春期	青年期	壮年期	高齢期		
				0～6歳	7～12歳	13～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上		
1	フレイルチェック測定会	社会福祉課	市役所会議室やコミュニティセンターなどで、フレイルチェックサポーターを中心に、測定会を実施。						○	12回開催(参加者145人) 市主催7回、高齢者サロンや自治会に出張で5回実施	市主催、高齢者サロンや自治会に出張で開催するものどで実施している。令和7年度は前年度比+50人。 令和8年度も継続して実施。
2	出前講座	社会福祉課	市内の団体等に保健師が向き、介護予防の知識の普及を図るもの。依頼に応じて実施。						○	フレイル 6回160人 認知症 1回42人	フレイルと認知症予防の内容で実施。出前講座の依頼は増えている。地域包括支援センターでも、地域活動としてサロン等で認知症の講座を行ったり、運動等の講座を実施しているところもある。 令和8年度も継続して実施。
3	療育、障がい者の相談	障がい福祉課	療育の相談や身体、精神障がい者の相談、健診後の指導。	○	○	○	○	○	○	*委託相談の実績で数値を出しているため実際の相談件数とは異なります。 (健診後の指導等は実施していません。) 相談者延べ1581人 新規相談者(実人数):150人	年々相談件数が増えているため、前年度より相談件数は増加する見込み。
4	高齢者センター教養講座	高齢介護課	歴史講座、高齢者講座。						○		ズシップへ委託。歴史講座、健康づくり講座、高齢者講座を実施(保湿の仕方、認知症予防麻雀教室など)。
5	未病センター(市役所・アリーナ)利用者	国保健康課	市役所1階のスペースとアリーナで開設。 開庁日の9時～16時(昼を除く)随時実施。体組成計や血圧計での測定や健康相談を実施。	○	○	○	○	○	○	利用者延べ38,913人(市役所4,677人、アリーナ34,236人)	令和6年度に比べて令和7年度は利用者数増加。 令和8年度も継続して実施。未病センター開設10周年。
6	訪問指導	国保健康課	実施する事業の中で、必要に応じて随時実施。				○	○	○	訪問指導実施件数 12件	来所困難者の訪問指導等は随時実施していく。 継続して実施。
7	未病センターでの栄養教育(健康栄養イベントDay)	国保健康課	健康に関する様々な測定や相談を予約制で開催。健康的な生活習慣のきっかけ作りを図るもの。年8回開催。				○	○	○	シセイカルテやベジチェックなどを実施。 5回開催(参加者139人)	継続して実施。
8	健診・検診事業	国保健康課	特定健診(40～74歳の国民健康保険加入者を対象とした生活習慣病の早期発見・予防を目的とした健診)、高齢者健診(75歳以上の神奈川県後期高齢者医療保険加入者を対象とした生活習慣病の早期発見・予防を目的とした健診)、各種がん検診を実施。					○	○	集団健診(年18回)、個別健診実施。 (R6年度実績 受診者数) 特定健診:2,837人(受診率37.6%) 高齢者健診:2,830人(受診率24.6%) がん検診:胃がん:615人、大腸がん:3193人、肺がん:2797人、子宮頸がん:1971人、乳がん:801人	特定健診・高齢者健診は4/1～2/28、がん検診は4/1～3/31の期間で実施。 令和8年度より特定健診のかわりに人間ドッグを受診した方への費用助成を実施予定。
9	健診事業(特定保健指導)	国保健康課	健診結果から、生活習慣病リスクのある人へ行う保健指導を実施。					○	○	集団健診会場で計14回実施、個別は随時。 (R6年度実績) 特定保健指導修了者数:95人(終了率32.8%)	継続して実施。
10	歯とお口の健康講座	国保健康課	歯周疾患予防や食育普及啓発などを目的とした展示や講座、相談等の啓発イベント。					○	○	6/16、12/18開催(参加者計39人) 令和7年度より鎌倉保健福祉事務所の歯科医師・歯科衛生士に講師を依頼。 ①6/15 災害時歯科について(災害時への備えや口腔ケア) ②12/17 オーラルケアについて(成人の歯周病、口腔ケア(オーラルフレイル)を中心とした講話、実技指導) ①、②ともに講師は鎌倉保健福祉事務所歯科医師・歯科衛生士 ②シニア健康セミナーと連携実施	①6/15 災害時歯科について(災害時への備えや口腔ケア) ②12/17 オーラルケアについて(成人の歯周病、口腔ケア(オーラルフレイル)を中心とした講話、実技指導) ①、②ともに講師は鎌倉保健福祉事務所歯科医師・歯科衛生士 ②シニア健康セミナーと連携実施
11	シニア健康セミナー	国保健康課	高齢による心身の機能低下(フレイル)を予防するための講座。						○	6/5、12/4開催(参加者計58人)	①6/11 ②12/10
12	通いの場	国保健康課	健康に関する専門職が高齢者が集う地域のサロンへ赴き、講座等を実施。						○	3圏域に9回実施(参加者計103人)	継続して実施。 ①小坪小学校区コミュニティセンター(西部圏域) ②逗子市商工会館(東部圏域) ③新宿会館(中部圏域)
13	がん予防講演会	国保健康課	がんの予防を目的とした啓発イベント				○	○	○	10/9開催(参加者43人) (葉山町民を含む)	継続して実施。
14	健康づくり出前講座(再掲)	国保健康課	市内の団体等に保健師や管理栄養士が向き、健康知識の普及を図るもの。依頼に応じて実施				○	○	○	19回実施(参加者延べ535人)	継続して実施。
15	ゲットキャンペーン(再掲)	国保健康課	スマートフォンアプリを活用した健康的な行動の促進。行動を記録する毎にポイントを付与し、インセンティブを提供。				○	○	○	ポイント付与として、日々の体重入力等を設けた。インセンティブの一部に体重計や血圧計等を盛り込んだ。10月10日～1月31日開催(参加者244人)	継続して実施。 インセンティブの内容は検討中。
16	学校健診	学校教育課	市立小中学生を対象に、内科健診や歯科検診を年に1回実施。		○	○				市立小中学校児童生徒(約3,560人)	継続して実施。
17	「子どものゲーム・スマホとのつきあい方講座」	子育て支援課	スマートフォン依存の低年齢化の現状と課題について、専門的見地から、「脳への反応」や「早期に使用する必要性」など考えていく講座。	○	○	○	○	○		①5/24、8/23開催(参加者12人) ②7/12、11/1開催(参加者18人)	講師は臨床心理士。①7/4②11/14③2/20実施予定。
18	こんにちは赤ちゃん訪問事業	子育て支援課	4か月までの新生児・乳児、産婦、保護者が対象で、随時実施。	○			○	○		産婦155人 新生児・乳児155人 対応件数159件	継続して実施。

				0～6歳	7～12歳	13～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上		
19	乳幼児健診	子育て支援課	疾病の早期発見、順当な発達・発育の確認。保護者に対する知識の普及と不安の解消を図るため、集団指導、問診、計測、診察、個別相談を実施。	○			○	○		48回実施(805組対応)	8月に保健センターの工事で使用できない期間があるため、4か月児健診年12回、お誕生日前健診・1歳6か月児健診・3歳児健診は年11回の実施予定。
20	パパママ準備クラス(母親 両親教室)	子育て支援課	妊娠、出産、育児についての普及を図り、楽しく育児できるよう仲間づくりの支援を実施。			○	○	○		16回実施(参加者168人)	令和7年度は実技のある回(セカンド・サードステップ)が人気、定員を超えて申込あり、臨時で追加して開催した。令和8年度は実技のある回を4回→6回に増やし、産後のクラスとして実施していたものをやめて全体の回数としては同じだが、内容を見直して実施予定。 ファーストステップ(逗子アリーナ):妊娠中のからだについて、マタニティストレッチ セカンドステップ(市役所5階会議室):赤ちゃん発達心理、沐浴実習 サードステップ(子育て支援センター):オムツ交換、ミルクのあげ方、抱っこの仕方
21	妊婦訪問事業	子育て支援課	妊婦訪問を行い、妊娠経過や育児に向けての準備の確認、育児不安の解消を図る。			○	○	○		1件	継続して実施。

3 望ましい食生活を実践しよう

	実施内容	担当課	取り組み内容	年代別						令和7年度実施結果	令和8年度実施予定
				乳幼児期	学童期	思春期	青年期	壮年期	高齢期		
				0～6歳	7～12歳	13～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上		
1	中学生向け給食だより	学校教育課 (経済観光課)	観光協会の事業を紹介する給食だよりを作成し、給食と一緒に配付した。			○				6/6に、市立中学校生徒(約1,000人)に向けて、給食だよりを配付	
2	小坪魚々祭り	経済観光課	小坪漁港でとれた魚(さざえ、かき等)を使って小坪漁港の現役漁師が調理し、販売するフードイベント	○	○	○	○	○	○	5/3～5/5開催(参加者1,500人)	小坪でとれたものを漁師が調理。令和8年度GW期間で実施済。9月のシルバーウィークでも実施予定。
3	小坪魚々祭り	経済観光課	小坪漁港でとれた魚(伊勢海老)を使って小坪漁港の現役漁師が調理し、販売するフードイベント	○	○	○	○	○	○	9/13～9/15開催(参加者1,500人)	
4	アオリイカの産卵場所の危機についてを学ぶ事業	経済観光課	アオリイカの産卵場所の危機(磯焼けの影響)概要を小学生に向けて総合学習の中で伝え、更に小学生が保育園児にその内容を説明する事業。また、アオリイカに触れて食べる体験も実施した。	○	○					4月25日、11月19日開催(参加者計140人(両日70人ずつ))	4/22に産卵所の設置(小坪小6年生)。令和7年度では、設置をした小坪小6年生が、もっと色んな人への取り組みを知ってほしいと保育園にも声掛けをし、小坪保育園児へレクチャーをした(今年度も同様に実施するかは未定)。神奈川県水産技術センターの研究で、アオリイカがいると海藻を食べつくすアイゴが寄ってこないという仮説を立て、その検証をする場に小坪が選ばれた(アオリイカ産卵所に海藻を植えている、剣山型産卵所の設置)。11月頃に研究結果の報告(神奈川県より)、アオリイカの収穫・食す予定。
5	海まる・漁師タクシー	経済観光課	『海まる』は、漁港でマルシェを実施。『漁師タクシー』は、漁師から海の状況を聞きながら乗船し周遊。	○	○	○	○	○	○	4/26、6/8、6/28、9/27、11/29、12/20開催(参加者107人)	海まるは7月・8月以外の最終土曜日にマルシェと漁師タクシーのイベントを開催。マルシェでは、回を増すごとに参加者が増えてきたので、出店側の漁師も前向きに、漁師と客が直接つながり、海産物の購入等にも繋がっている。
6	国・県より啓発物品の配布	市民協働課	エシカル消費のパンフレットなど、啓発物品を配付。				○	○	○	随時実施	継続して実施。
7	フェアトレードタウン連続講座	市民協働課	フェアトレードについて学ぶ講座。年間4回実施。				○	○	○	年4回連続講座(参加者56名(1・2回目合計))	実施予定(日程未定)。
8	フェアトレードローカルランチキャンペーン	市民協働課	フェアトレード月間である5月に実施。				○	○	○	5/1～7/31で開催	5/1～7/31で開催。令和8年度は、5/8中学校給食でフェアトレード食材(ゴマ)を使ったものを提供し、市民協働課で作成したフェアトレードに関するパンフレットを配付する取り組みを実施。
9	高齢者センター教養講座	高齢介護課	歴史講座、高齢者講座						○		ズンブへ委託。高齢者講座の中で栄養士が食事に関する講話等の取り組みがある。
10	福祉配食サービス事業	高齢介護課	日常生活に支障のある高齢者等に対し、訪問により昼食を届け、低栄養の予防改善のための食事の確保と日常の安否の確認を行う。						○	延べ103人2,072食(4月～11月で12～15人/月)提供。独居台帳(民生委員、ケアマネからの情報提供で作成。全員を網羅していない)が基になる。治療食8種類あるが、主治医の指示も考慮が必要弁当が嫌、苦手という対象者もいる。	独居の要介護者が対象。利用するには事前にアセスメントが必要で、ケアマネジャーまたは地域包括支援センターの職員が行う(ケアプランに載せている)。利用者は10～15人くらい。最大週7日利用可能。安否確認の意味も含まれているので、手渡しもしくははいることを確認してから渡している。
11	食育講演会	国保健康課	食育啓発のため、食にまつわる様々なテーマで開催する講演会年に1回開催。				○	○	○	11月『保健機能用食品との付き合い方』の内容で実施(参加者20人)	11/13開催予定。経済観光課経由で湘南漁業協同組合に話をしており、元代表理事組合長に『小坪の海を知ろう』と題して環境や食糧のことを中心に講演いただき、ともに、実際に漁船や漁具の説明いただき、会場も小坪漁港で行う方向で準備を進めている。
12	栄養改善教室	国保健康課	健康や防災など食に関する内容で、講義と試食を実施し、体感することで知識を深めてもらう教室。年4回実施。			○	○	○	○	6月、9月、11月、2月の4回実施(参加者106人)	①6/8:魚のさばき方 ②9/25:災害時の食生活 ③11月:うごけるカラダをつくるたんぱく質 ④湘南漁協の漁師さんにお越しいただき、魚のおろし方について指導いただく。魚を身近なものにしよう。 ⑤災害時の食生活講演会は、能登半島地震で支援したJDATリーダーに講演していただく予定。昨年に引き続き、屋外でカセットコンロを利用し、バックキッチンを実施する。
13	健康づくり出前講座(再掲)	国保健康課	市内の団体等に保健師や管理栄養士が出向き、健康知識の普及を図るもの。依頼に応じて実施				○	○	○	19回実施(参加者延べ535人)	継続して実施。
14	食生活改善推進員養成講座	国保健康課	家庭や地域で食生活改善活動を実践するヘルスメイト(食生活改善推進員)を養成する講座。全12回実施。				○	○	○	12回実施、参加者5人	全12回で実施予定。
15	中学生への食育資料配布	国保健康課	保護者と卒業を控えた市立中学校3年生に向け、今後の食生活に向けた資料を配付し、望ましい食生活について啓発を実施。		○					2月下旬に実施。市立中学校生徒(約1,100人)へパンフレットを配付。	中学校側から家庭科の先生と一緒に配付することの提案があり、実施方法を検討中。
16	男性の健康料理教室	国保健康課	介護予防を目的とした市内在住の料理経験のない65歳以上の男性を対象とした料理教室。1コース8回を年間3コース実施。						○	参加者計33人(延べ248人)。	継続して実施。
17	ゲットキャンペーン(再掲)	国保健康課	スマートフォンアプリを活用した健康的な行動の促進。行動を記録する毎にポイントを付与し、インセンティブを提供。				○	○	○	ポイント付与として、野菜の摂取量の入力等を設けた。インセンティブの一部にわかめや調理器具等の内容を盛り込んだ。10月10日～1月31日開催(参加者244人)	継続して実施。インセンティブ内容は検討中。
18	夏休みの親子料理教室	社会教育課	市内小学生とその保護者を対象にした、若宮会と漁協を講師に、「魚のさばき方」や「おうちごはんを一緒に作る」の料理教室を実施。		○		○	○		8/20、21開催(参加者27人(親子))	漁業組合、若宮会に委託している。8月に実施予定。

3 望ましい食生活を実践しよう

	実施内容	担当課	取り組み内容	年代別						令和7年度実施結果	令和8年度実施予定
				乳幼児期	学童期	思春期	青年期	壮年期	高齢期		
				0～6歳	7～12歳	13～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上		
19	ホンモノの手作りチョコレートワークショップ	社会教育課	人権教育講座として児童労働を学ぶことも目的として小坪コミュニティセンターで開催。カカオ豆からチョコレートを作る体験を実施。		○	○				参加者15人(小中学生)	『規格外バランゴンバナナで楽しくおいしくフードロス削減』をテーマに、小学生向けの講座を実施予定。
20	食育指導全体計画	学校教育課	各小中学校において、食に係る指導の年間計画を作成し実施。		○	○				市立小中学校児童生徒(約3,560人)	各小中学校で計画を立てて実施している。
21	給食提供(小学校・中学校)	学校教育課	給食を通して正しい知識や望ましい食習慣を養うことを年間を通して実施。		○	○				市立小中学校児童生徒(約3,560人)	継続して実施。 令和8年度より小学校給食が無償化。
22	食育に係る授業の実施	学校教育課	小学校では、とうもろこしの皮むき体験、箸の持ち方、わかめの種付け、大豆について等、中学校では、給食についての授業を実施。		○	○				市立小中学校児童生徒(約3,560人)	継続して実施。
23	わかめの提供(半年分の乾燥わかめ)	学校教育課	5月～9月頃実施。小坪漁協より小坪産のわかめを提供。それを使って給食を提供。		○	○				池子小学校児童(約270人)	実施予定。 提供の範囲については調整中。
24	たのくろ豆(小学校5校分農家さんのご厚意で提供)	学校教育課	5/9の給食で、たのくろ豆を使った給食を市内小学校で、提供。		○					市立小学校児童(約2,460人)	実施予定。 提供の範囲については調整中。
25	給食だより(小学校)	学校教育課	毎月、保護者と児童に向けて給食に関するおたよりを配付。		○		○	○		市立小学校児童(約2,460人)	継続して実施。
26	当日の給食等に関するおたより	学校教育課	給食を中心に、『食』についての情報を毎日提供。		○	○				市立小中学校の児童生徒(約3,560人)	継続して実施。
27	小学校給食試食会	学校教育課	給食の試食を通じて、学校給食の様子を知り、献立に対する理科有為を深めるとともに、学校と家庭が連携して子どもの『食育』を推進。		○					市立小学校3校(参加者計119人)	継続して実施。
28	中学校給食試食会	学校教育課	給食の試食を通じて、学校給食の様子を知り、献立に対する理科有為を深めるとともに、学校と家庭が連携して子どもの『食育』を推進。			○				市立中学校3校(参加者計41人)	継続して実施。
29	中学生保護者向けSNS食育情報の発信	学校教育課	不定期に、学校教育課中学校給食担当の栄養士が、『食育について』を発信。			○				フォロワー198人(12月25日現在)	継続して実施。
30	食育関連図書の購入(予算6万円)	学校教育課	企業より寄付があった。7～10月頃に書籍の購入や調理実習などを実施。		○	○				市立小中学校の児童生徒(約3,560人)	令和7年度の寄付予算で実施したもので、今年度は実施しない。
31	栄養士が湘南ビーチFMIに出演 栄養士が家庭訪問に同行	子育て支援課	栄養士が、子育て世帯に向けた食についての内容を湘南ビーチFMIに出演し講演。	○			○	○		湘南ビーチFM:8/13(水)実施、家庭訪問:未実施	継続して実施。
32	母乳・授乳相談	子育て支援課	助産師による授乳についての相談を通して適切な授乳の助言と育児不安の解消を図る。	○			○	○		毎週木曜日(予約制)で開催(相談件数98件)	継続して実施。
33	離乳食教室	子育て支援課	乳児、保護者を対象。年間12回実施。偶数月に離乳食初期と中期～後期の各1回ずつ開催。	○			○	○		①離乳食初期6回、②離乳食中～後期 6回実施(参加者71組(177人)) R7年度からは、試食も再開。	継続して実施。
34	子ども栄養相談(離乳食、偏食等)	子育て支援課	子育て世帯、その子どもを対象に週1回、予約制で開催。	○			○	○		相談件数73件	継続して実施。
35	妊婦栄養相談	子育て支援課	管理栄養士による妊娠時の食事についての相談を通して適切な食事の助言と体重管理の不安の解消を図る。				○	○		相談件数1件	継続して実施。
36	給食提供(保育園)	保育課	保育園児(職員)に向けて、給食とおやつを毎日提供。	○						【湘南保育園】園児:73人/職員:20人 【小坪保育園】園児:63人/職員:23人	継続して実施。
37	食育(調理保育)	保育課	保育課の栄養士が、公立保育園に出向き、食育の時間を設ける。	○						8回実施。 【湘南保育園】園児:61人 【小坪保育園】園児:52人	職員体制の関係で、8回実施→令和8年度は3回実施予定。 ①7月頃:朝ごはんを食べよう、三色食品群②9月頃:カツオおろし③1月頃:栄養士会講話
38	園児向けの魚の解体ショー(食育目的)	保育課	小坪漁協の漁師の方がカツオを1本さばき、魚の部位などを説明。さばいた後の切身も給食でいただくもの。	○						☆参加予定 【湘南保育園】9/10 園児:73人/職員:20人 【小坪保育園】9/4 園児:63人/職員:23人 R6年度はカツオ(漁の都合で準備が困難)。魚の調達、日程調整が課題。魚種にこだわらず、進めたい。	上記の②として実施予定。